

# 医 は 手

岩手県臨床研修病院 ガイドブック



2025



# いわてイーハトーヴ 臨床研修病院群

岩手県では、各臨床研修病院の臨床研修プログラム責任者を中心に「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群ワーキンググループ」を構成し、県と共同して臨床研修医を受け入れる環境整備に取り組んでいます。

## いわてイーハトーヴ 臨床研修病院群とは

研修医がプライマリ・ケアを身につけて良い医師になるため、岩手県内にある11の臨床研修病院がそれぞれの特徴を活かしながら、不足している部分を補い合えるシステムを構築してきました。岩手は一つになって、皆さんの臨床研修を支えます。それが、いわてイーハトーヴ臨床研修病院群です。

## 基本理念

地域背景や  
経営母体を超えて、  
良き医師を  
養成する

研修医にとって  
ベストな研修プログラム、  
教育環境を  
構築する



# CONTENTS

- 1 目次・基本理念
- 2 いわてイーハトーヴ  
臨床研修病院群概要
- 8 研修医インタビュー
- 12 指導医インタビュー
- 14 専門医制度  
専攻医インタビュー
- 17 いわてイーハトーヴ  
臨床研修病院群
- 17 岩手医科大学附属病院
- 18 盛岡赤十字病院
- 19 岩手県立中央病院
- 20 盛岡市立病院
- 21 岩手県立中部病院
- 22 岩手県立胆沢病院
- 23 岩手県立磐井病院
- 24 岩手県立大船渡病院
- 25 岩手県立宮古病院
- 26 岩手県立久慈病院
- 27 岩手県立二戸病院
- 28 いわてガイド

グローバル  
スタンダードに基づく、  
プライマリ・ケア研修を  
実践する

研修医とともに  
医療の質を  
向上する



## イーハトーヴとは

岩手県出身の宮沢賢治による造語で、心象世界にある理想郷を指す言葉。

### 岩手県の取り組み

#### いわてイーハトーヴ 臨床研修病院群とは

岩手県内11の臨床研修病院が「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群」としてスクラムを組み、各病院の指導医が緊密に連携しあい、臨床研修体制の充実、環境整備に向けた一体的な取り組みを行っています。



#### 岩手県内の臨床研修病院

##### 盛岡 盛岡市

- 1 岩手医科大学附属病院
- 2 盛岡赤十字病院
- 3 県立中央病院
- 4 盛岡市立病院

##### 岩手中部 北上市

- 5 県立中部病院

##### 胆江 奥州市

- 6 県立胆沢病院

##### 両磐 一関市

- 7 県立磐井病院

##### 気仙 大船渡市

- 8 県立大船渡病院

##### 宮古 宮古市

- 9 県立宮古病院

##### 久慈 久慈市

- 10 県立久慈病院

##### 二戸 二戸市

- 11 県立二戸病院

## 01 岩手県の臨床研修の特徴

### ■ 圧倒的な臨床経験

岩手県は広大な面積にも関わらず医師数が少なく、医師偏在指標は全国最下位の47位です。しかし、それだけ研修医が担当する患者数が多いということになります。圧倒的な臨床経験を得ること、それは皆さんを早期にプロフェッショナルへと成長させます。

### ■ 程よい専門志向と総合診療志向のバランス

岩手の病院では診療科が揃っていない病院も多く、それぞれの診療科が診る範囲を広げることで、地域医療をカバーしています。例えば消化器科医でも脳梗塞診療をする、外科医でも肺炎の治療をするという形です。専門診療を深めつつプライマリ・ケアにも携わることで、引き出しの多い臨床医に育ちます。

### ■ ぬくもりのある、医療者を大切にしてくれる県民性

学習において大切なのは「心理的安全性が担保されていること」です。強いストレスは学びの妨げになります。誰もが励まされ感謝されながら働き、学んでいきたいと願うものです。岩手県民にはそれを見守る懐の深さがあります。

### ■ グループダイナミクス

一人よりも数人、一つの組織よりもいくつかの組織のほうが、多様な考えが集まり、より良い発想が生まれる。それがグループダイナミクスです。岩手の病院ではお互いの足りない部分を補い合いながら医療を提供してきました。それは臨床研修でも同様に、不足している診療科を他の臨床研修病院で研修する、他の臨床研修病院が得意なものを勉強しに行くといった、たすきがけ研修が可能です。お互いの病院の良いところを学べます。また、いわてイーハトーヴ臨床研修病院群の合同企画では、グループワークを通じてまさにグループダイナミクスを体感することができます。医師としてチーム医療に参加していく礎になります。

## 02 全国随一の公的医療機関のネットワーク

岩手県では、県立病院20病院、地域診療センター6施設を設置しているなど、全国随一の公的医療機関のネットワークを構築しています。こうした環境を活かし、各臨床研修病院では訪問診療を組み込むなど、充実した地域医療研修メニューを設定しています。



▲ 特定機能病院岩手医科大学附属病院

## 03 高度医療施設、最新の医療機器

岩手県には、特定機能病院として岩手医科大学附属病院、同じく岩手医科大学には、全国で7番目に認定された岩手県高度救命救急センターなど、高度医療施設が設置されています。

救急分野では、岩手県高度救命救急センターのほか、県内陸部の県立中央病院や県沿岸部の県立大船渡病院及び県立久慈病院に救命救急センターが設置されています。また、各病院には最新鋭の医療機器が導入され、高度な医療を提供する体制が整備されています。



▲ ドクターヘリ

### 給与イメージ

令和7年度4月1日時点  
各病院の金額は個人毎に異なる場合があります。

#### ■ 岩手医科大学附属病院

| 病院名        | 給与情報                 |   |
|------------|----------------------|---|
| 岩手医科大学附属病院 | 1年次                  | 基本給 350,000円(調整手当含む)<br>賞与 年2回 総額390,000円(9万円+30万円)<br>各種手当 宿日直手当・特別診療手当(時間外勤務)         |
|            | 年間概算支給見込額 6,120,000円 |   |
|            | 2年次                  | 基本給 418,400円(調整手当・献血業務手当含む)<br>賞与 年2回 総額600,000円(30万円+30万円)<br>各種手当 宿日直手当・特別診療手当(時間外勤務) |
|            | 年間概算支給見込額 7,450,800円 |   |

※上記とは別に、支給要件を満たした場合は、以下の手当が支給されます。  
・臨床研修医宿舎完備(月額利用料30,000円)  
・住宅手当 月額20,000円(宿舎入居者を除く)  
・通勤手当(通勤距離に応じて大学規定額を支給)  
・日本私立学校振興・共催事業団(私学共済)に加入(年金・健康保険・雇用保険等完備)  
・医師賠償責任保険に加入(病院として適用)  
・筆頭演者として出席する学会の旅費、参加費の支給(一人あたり年間12万円まで)  
・BLS・ACLS等各種講習会受講料の支給  
・白衣(1年次2枚+2年次1枚)及びクリーニンング券の支給

#### ■ 盛岡赤十字病院

| 病院名     | 給与情報                 |  |
|---------|----------------------|--|
| 盛岡赤十字病院 | 1年次                  | 基本給 360,000円<br>賞与 年2回(50,000円+50,000円)<br>各種手当 特殊勤務手当、時間外勤務手当、宿日直手当 |
|         | 年間概算支給見込額 6,500,000円 |  |
|         | 2年次                  | 基本給 410,000円<br>賞与 年2回(50,000円+50,000円)<br>各種手当 特殊勤務手当、時間外勤務手当、宿日直手当 |
|         | 年間概算支給見込額 7,200,000円 |  |

※上記とは別に、支給要件を満たした場合は、以下の手当が支給されます。  
・通勤手当(0~31,600円(距離により変動))、住居手当(最大28,500円)

#### ■ 盛岡市立病院

| 病院名    | 給与情報                 |   |
|--------|----------------------|---|
| 盛岡市立病院 | 1年次                  | 基本給 424,792円(地域手当含む)<br>賞与 年2回(159,297円+530,990円)<br>各種手当 特殊勤務手当、時間外勤務手当、休日勤務手当ほか |
|        | 年間概算支給見込額 7,990,000円 |   |
|        | 2年次                  | 基本給 465,624円(地域手当含む)<br>賞与 年2回(582,030円+582,030円)<br>各種手当 特殊勤務手当、時間外勤務手当、休日勤務手当ほか |
|        | 年間概算支給見込額 9,560,000円 |   |

※上記とは別に、支給要件を満たした場合は、以下の手当が支給されます。  
・通勤手当

#### ■ 県立病院

県立病院は3エリア(A~C)に分かれております。

##### A病院

| 病院名 | 給与情報                 |  |
|-----|----------------------|--|
| 中央  | 1年次                  | 基本給 330,000円<br>賞与 年2回 総額978,000円(226,000円+752,000円)<br>各種手当 特殊勤務手当、超過勤務手当、宿日直手当   |
|     | 年間概算支給見込額 6,130,000円 |  |
|     | 2年次                  | 基本給 380,000円<br>賞与 年2回 総額1,733,000円(866,000円+866,000円)<br>各種手当 特殊勤務手当、超過勤務手当、宿日直手当 |
|     | 年間概算支給見込額 8,218,000円 |  |

##### B病院

| 病院名      | 給与情報                 |  |
|----------|----------------------|--|
| 胆沢磐井中部二戸 | 1年次                  | 基本給 345,000円<br>賞与 年2回 総額1,023,000円(236,000円+787,000円)<br>各種手当 特殊勤務手当、超過勤務手当、宿日直手当 |
|          | 年間概算支給見込額 6,623,000円 |  |
|          | 2年次                  | 基本給 395,000円<br>賞与 年2回 総額1,801,000円(901,000円+901,000円)<br>各種手当 特殊勤務手当、超過勤務手当、宿日直手当 |
|          | 年間概算支給見込額 8,292,000円 |  |

##### C病院

| 病院名     | 給与情報                 |  |
|---------|----------------------|--|
| 大船渡宮古久慈 | 1年次                  | 基本給 360,000円<br>賞与 年2回 総額1,067,000円(246,000円+821,000円)<br>各種手当 特殊勤務手当、超過勤務手当、宿日直手当 |
|         | 年間概算支給見込額 7,242,000円 |  |
|         | 2年次                  | 基本給 410,000円<br>賞与 年2回 総額1,870,000円(935,000円+935,000円)<br>各種手当 特殊勤務手当、超過勤務手当、宿日直手当 |
|         | 年間概算支給見込額 9,172,000円 |  |

※上記とは別に、支給要件を満たした場合は、以下の手当が支給されます。  
・公舎を貸与(有料)  
・【各種保険】全国健康保険協会管掌健康保険・厚生年金及び労災保険(1年次のみ)、地方公務員等共済組合、病院賠償責任保険及び勤務医賠償責任保険(個人加入は任意)  
・国内の学会に参加する場合、年額12万円の範囲内で旅費を支給。  
大船渡、宮古、久慈病院に勤務する医師については、年額2万円の範囲内で加算あり。

※B病院及びC病院の年間概算支給見込額については、各エリア毎の平均値となります。  
詳細は各病院にお問い合わせください。

### 医学生の皆様に向けた取り組み

#### 01 岩手県臨床研修病院合同説明会

年に数回、全病院参加の臨床研修病院説明会を開催しています。各病院が自院の特徴をプレゼンテーションし、研修医に質問をすることも可能です。一日で複数病院の説明を聞くことができるので、効率的ですし、臨床研修病院間の違いを比べることができます。



▲合同説明会(マイナビRESIDENT FESTIVAL 仙台会場)

#### 02 岩手県臨床研修病院合同面接会

全病院が同じ日、同じ会場で採用面接を行う日を設けています。これにより、複数病院を面接する場合に各病院に足を運ぶ必要がなく、併願しやすくなっています。



▲合同説明会(岩手医科大学会場)

#### 03 県人会

岩手県出身の医学生等を対象とした、岩手県人会を開催しています。本県のイーハトーヴ臨床研修病院群の取り組みを紹介するほか、各病院の指導医・研修医との交流や今後の進路相談を行う機会となっています。



▲弘前大学県人会



▲秋田大学医学部県人会

### 病院見学について

岩手県では病院見学にお越し頂いた医学生のみなさんに、往復の旅費を支給しています。申し込みは各臨床研修病院のホームページからも可能ですが、複数病院を見学するツアーを希望する方には、病院間の見学日程を岩手県医師支援推進室が間に入って調整することもできます。一度にいくつかの病院を見学したいけど調整どうしよう…という方、迷わず岩手県医師支援推進室へご連絡ください。

### 岩手県医師支援推進室



019-629-6352

(平日9:00~17:00)



EA0006@pref.iwate.jp

<https://rinsyo-iwate.pref.iwate.jp/>



### 臨床研修医に向けた取り組み

#### 01 臨床研修医合同オリエンテーション(平成19年度からの取り組み)

県内の臨床研修病院に採用された臨床研修医を対象に、臨床研修を進める上で必要な法令、規則などの知識や基本的な手技などの習得のほか、臨床研修医間のネットワーク形成を図る機会として実施しています。

毎年、4月上旬に開催し、令和7年度は72名が参加。「ドクターG」こと福井大学医学部の林寛之先生による講演のほか、多職種と触れ合うシミュレーションなどを行いました。



▲林寛之先生



▲合同オリエンテーション

## 02 2年次の臨床研修医を対象とした臨床能力向上セミナー

県内の臨床研修医(2年次)が一堂に会して、自身の基本的診療能力がこれまでの臨床研修によってどれだけ身に付いているかを確認し、その場で指導を受けることで、一般的な診療において頻繁に関わる疾病に適切に対応できる診療能力のレベルアップを目的として実施しています。

また、研修医が進んで学ぶ場として、平成22年度まで実施した合同OSCE(客観的臨床能力試験)を進化させて開催するほか、令和5年度からは、ACPセミナーと同時開催とし、臨床研修が修了した3年目以降、自らが責任ある主治医として医療に携わる上で、患者さんや家族のストーリーを大切にしながら、多職種で関わりを深めつつ意思決定していく方法を学びます。

令和6年度は、県内の2年次研修医67名が参加し、県内の指導医を講師に、ロールプレイや腹部・心エコーなどワークショップにより理解を深めました。



▲臨床能力向上セミナー

## 03 臨床研修医短期海外研修

岩手県では、米国日本人医師会の協力のもと、医師のキャリアパス形成支援を目的とした「臨床研修医短期海外研修」を実施しています。対象は2年次臨床研修医で、毎年4月頃に米国ニューヨークなどで研修が行われています。平成28年度から始まり、これまでに27名の研修医が参加(令和7年4月末時点)しています。



# 指導医に向けた取り組み

## 01 指導医講習会

岩手県では、厚生労働省の指針に沿った臨床研修指導医講習会を、全国で初めて県主催として開催するなど、早くから指導医の養成に取り組んできました。

指導医の指導力、教育力を高めるために、現場ですぐ使える知識を身に付け、問題解決のきっかけを作ることを目標とした内容にしています。講習会修了後もファシリテーターとして参加することでFD(指導医のスキルアップ)にもつながります。



▲指導医講習会

## 02 指導医のスキルアップ

日本医学教育学会が開催している富士研ワークショップ(医学教育者のためのワークショップ)へ、いわてイーハトーヴ臨床研修病院群の医師の派遣を予定する等、指導医の資質向上を図っています。

## 指導医の状況

岩手県内の臨床研修病院の指導医数は468名。このうち指導医講習会を受講した医師は379名(受講率80.9%/令和6年4月1日現在)で、充実した臨床研修指導体制が築かれています。

| 研修医数<br>(a) | 指導医数<br>(b)          | (b)のうち<br>指導医講習会<br>受講数(c) | 受講済み指導医と<br>研修医の比率<br>(c):(a) |
|-------------|----------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 143名(※)     | 468名<br>(令和6年4月1日現在) | 379名<br>(令和6年4月1日現在)       | 約 3 : 1                       |

※令和5年度～6年度採用者の合計人数

## ■県別にみた臨床研修病院指導医講習会 受講者数及び率(基幹型のみ)

|     | 指導医数  | 受講者数  | 受講率   |
|-----|-------|-------|-------|
| 岩手県 | 468   | 379   | 80.9% |
| 青森県 | 783   | 612   | 78.1% |
| 宮城県 | 1,754 | 1,124 | 64.0% |
| 秋田県 | 935   | 725   | 77.5% |
| 山形県 | 817   | 587   | 71.8% |
| 福島県 | 849   | 688   | 81.0% |
| 東北計 | 5,606 | 4,115 | 73.4% |

(令和6年4月1日現在、東北厚生局調べ)

# SYSTEM

## いわてイーハトーヴ臨床研修病院群

### 県内臨床研修医の動向など(県内勤務等者数及び率)

※1 平成27年9月及び平成28年1月の中途受入2名を含む ※4 令和3年9月修了者2名を含む  
 ※2 平成31年4月修了者1名を含む ※5 令和4年6月修了者1名、令和4年9月修了者1名を含む  
 ※3 令和元年5月の中途受入1名を含む ※6 令和3年11月中途受入1名を含む

| 区分          | 受入年度              | H27            | H28               | H29              | H30              | R1               | R2               | R3            | R4            | R5  | R6  | R7  |
|-------------|-------------------|----------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------|---------------|-----|-----|-----|
| 臨床研修医(受入)   |                   | 77名            | 67名               | 70名              | 76名              | 75名              | 61名              | 67名           | 61名           | 69名 | 74名 | 72名 |
| a: 研修修了者    | (H29.3)<br>79名 ※1 | (H30.3)<br>66名 | (H31.3)<br>71名 ※2 | (R2.3)<br>76名 ※3 | (R3.3)<br>76名 ※4 | (R4.3)<br>58名 ※5 | (R5.3)<br>68名 ※6 | (R6.3)<br>61名 | (R7.3)<br>67名 | -   | -   | -   |
| b: うち県内勤務等者 | 60名               | 50名            | 53名               | 56名              | 65名              | 49名              | 58名              | 41名           | 52名           | -   | -   | -   |
| b/a: 県内勤務等率 | 75.9%             | 75.8%          | 74.6%             | 73.7%            | 85.5%            | 84.5%            | 85.3%            | 67.2%         | 77.6%         | -   | -   | -   |

### 令和7年度1年次研修医の出身地内訳

|      |       |       |       |      |       |
|------|-------|-------|-------|------|-------|
| 岩手県  | 38.8% | 岩手県外  | 19.5% | 東北圏外 | 41.7% |
| 東北圏内 |       | 58.3% |       |      |       |

### 令和6年度臨床研修修了者の進路状況

|        |       |      |       |
|--------|-------|------|-------|
| 岩手県内   | 77.6% | 岩手県外 | 19.4% |
| 不明、その他 |       | 3.0% |       |

| 出身県  | 人数   | 割合 |       |
|------|------|----|-------|
| 東北圏内 | 岩手県  | 28 | 58.3% |
|      | 宮城県  | 7  |       |
|      | 秋田県  | 4  |       |
|      | 福島県  | 2  |       |
|      | 青森県  | 1  |       |
|      | 山形県  | 0  |       |
|      | 計    | 42 |       |
| 東北圏外 | 東京都  | 5  | 41.7% |
|      | 神奈川県 | 4  |       |
|      | 群馬県  | 4  |       |
|      | 大阪府  | 3  |       |
|      | 静岡県  | 3  |       |
|      | 兵庫県  | 3  |       |
|      | 埼玉県  | 2  |       |
|      | 和歌山県 | 2  |       |
|      | 愛知県  | 1  |       |
|      | 千葉県  | 1  |       |
|      | 広島県  | 1  |       |
|      | 福岡県  | 1  |       |
|      | 計    | 30 |       |

(令和7年4月1日現在)

| 病院等        | 人数 | 割合    |
|------------|----|-------|
| 岩手医科大学附属病院 | 24 | 77.6% |
| 盛岡赤十字病院    | 0  |       |
| 盛岡市立病院     | 0  |       |
| 北上済生会病院    | 1  |       |
| 岩手県立中央病院   | 13 |       |
| 岩手県立大船渡病院  | 1  |       |
| 岩手県立宮古病院   | 1  |       |
| 岩手県立胆沢病院   | 5  |       |
| 岩手県立磐井病院   | 1  |       |
| 岩手県立久慈病院   | 1  |       |
| 岩手県立千厩病院   | 1  |       |
| 岩手県立中部病院   | 2  |       |
| 岩手県立南光病院   | 2  |       |
| 計          | 52 |       |
| 岩手県外       | 13 | 19.4% |

(令和7年4月1日現在)

### 専攻医登録先(施設)

| 基幹施設       | 人数 | 割合    |
|------------|----|-------|
| 岩手医科大学附属病院 | 30 | 67.2% |
| 岩手県立中央病院   | 10 |       |
| 岩手県立胆沢病院   | 3  |       |
| 岩手県立中部病院   | 1  |       |
| 岩手県立南光病院   | 1  |       |
| 計          | 45 |       |
| 岩手県外       | 19 | 28.4% |

(令和7年4月1日現在)

### 専攻医登録先(領域)

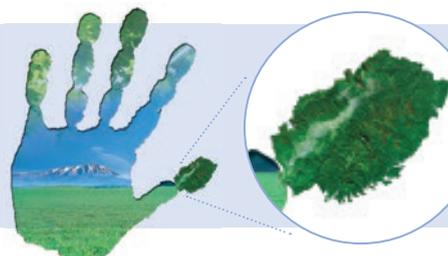
| 診療科           | 人数 | 割合    |
|---------------|----|-------|
| 内科            | 24 | 35.8% |
| 外科            | 9  | 13.4% |
| 整形外科          | 5  | 7.5%  |
| 精神科           | 5  | 7.5%  |
| 産婦人科          | 4  | 6.0%  |
| 脳神経外科         | 3  | 4.5%  |
| 皮膚科           | 3  | 4.5%  |
| 泌尿器科          | 3  | 4.5%  |
| 麻酔科           | 3  | 4.5%  |
| 眼科            | 2  | 3.0%  |
| 放射線科          | 2  | 3.0%  |
| 形成外科          | 1  | 1.5%  |
| 未定/専門研修を開始しない | 3  | 4.5%  |
| 合計            | 67 | 100%  |

(令和7年4月1日現在)

コラム  
column

### 医は手のロゴマーク

医療は人の手で行われています。そしてこれからの医療を担う医師の手を岩手で育てていく...そんな願いが込められています。親指をよく見ると、なんと岩手県のシルエットが。



## 勤務医の勤務環境向上支援の取り組み

### 勤務医の勤務環境向上支援の取り組み

産科医、新生児担当医確保、中核病院の病診連携、院内保育（夜間、病児等保育）事業などへの支援を行います。

### 女性医師の就業支援の取り組み

岩手県では、平成19年から「女性医師就業支援事業」を実施し、育児支援、職場復帰研修の取り組みを推進しています。

#### ● 育児支援事業

就学前の乳幼児を子育て中であって、県内の医療機関に勤務する女性医師を対象とし、勤務形態に合わせて保育にあたる者（ベビーシッターなど）を確保するなどの支援を行います。

【岩手県医師会】TEL.019-651-1455

#### ● 職場復帰支援事業

育児などのために離職し、その後に復帰（再就業）を希望する女性医師で、岩手医科大学での研修を希望する方に対し、離職時の就業状態及び離職期間に応じた研修を行います。



### その他子育て支援の取り組み

#### ● 不妊に悩む方への特定不妊治療交通費助成

岩手県では、不妊治療を受けた方の経済的な負担を軽減するため、保健適用の特定不妊治療（体外受精、顕微鏡受精、男性不妊治療）を受けるための通院に要した交通費の一部を助成しています。最寄りの保健所でご相談できます。

#### ● 不妊専門相談センター（岩手医科大学付属病院内）

岩手県では、岩手医科大学付属病院内に「不妊専門相談センター」を設置しています。不妊でお悩みの方に、専門的知識を有する医師等が相談に応じます。



#### ● 性と健康の相談センター（各保健所内）

各保健所に性と健康の相談センターを設置し、妊娠・出産等の各ライフステージに応じた悩みに関する相談を受け付けています。



## 県立病院の子育て中の医師・女性医師支援のための相談窓口

### 岩手県医療局医師支援推進室

☎ 019-629-6366 ✉ EA0006@pref.iwate.jp

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11番1号

支援制度についてもホームページでもご確認いただけます。または各病院事務局にお問い合わせください。

<https://www.pref.iwate.jp/iryokyoku/1015161/1021870.html>



## 岩手の臨床研修病院、ここに集結。

## Follow Me!



岩手医科大学附属病院



盛岡赤十字病院



盛岡市立病院



岩手県立中央病院



岩手県立大船渡病院



岩手県立宮古病院



岩手県立胆沢病院



岩手県立久慈病院



岩手県立磐井病院



岩手県立中部病院



岩手県立二戸病院



X  
@iwate\_ihatov



Instagram  
@iwate.ihatov.  
rinsyoukensyu





### 災害を経験した地域で 手厚い指導を受けています

#### 病院全体でサポート

父と同期で親交が深く、東日本大震災を経験した先生の存在から、岩手県沿岸地域での研修を選択しました。宮古病院での研修は、上級医の先生方やコメディカルの方々の手厚いサポートの元で行われています。病院全体で研修医を一人前にしようという姿勢を感じます。救急搬送が多く忙しい環境の中で、臨床研修医とはいえ少しでも力になれるようにと過ごす毎日です。社会人経験からのコミュニケーションスキルを活かして患者さんの話を傾聴し、尊敬する父や父の友人たちのように町を愛し、町の人に愛される医師を目指し岩手の医療に従事していきたいと思います。

ほんだ だいき  
本田 大樹

新潟県新潟市出身 1980年生まれ  
福岡大学卒  
臨床研修病院：岩手県立宮古病院

### 多人数の同期と一緒に 学び合い、助け合っています

#### 最新の知見も学んで

中央病院を研修先にしたのは、診療科が充実していて、同期の人数が多いことが理由です。同期が多いと同じ目線での意見交換や勉強ができ、それが自分の学びになると考えました。実際に得意な領域を教え合ったり、悩みを聞いたりとお互いに助け合う体制ができています。各科を回って経験を積み、上の先生もいる勉強会では最新の知見を学べます。診療科は学生時代に興味を持った呼吸器内科を考えています。治せる病気は全力で治しますが、肺がんなどで治せない場合も、苦しんでいる患者さんを少しでも楽にできるような治療がしたい。患者さんが難しい選択に迫られたとき、この先生で良かったと思ってもらえる医師になりたいです。

いしい みなみ  
石井 南

宮城県仙台市出身 1999年生まれ  
東北大学卒  
臨床研修病院：岩手県立中央病院



岩手県の病院でキャリアをスタートさせた臨床研修医。どのような環境で研鑽を積み、どんなことを学んだのか。県内各地で奮闘する8人の臨床研修医に、それぞれの思いを聞きました。(取材は2024年5月)

## 地域のお医者さんを目標に 多くを吸収する日々です

### 予防段階から考えて

医学部以外の学部に進学しましたが、再受験し医師の道へ。10代の頃に知った国境なき医師団の活動が、地元の先人・宮沢賢治の自己犠牲的な精神とリンクし憧れたのがきっかけです。今は神経系を専門に学び、その先に総合診療を、と考えています。どこに行ってもその土地の人として暮らし、診療だけでなく住民と一緒に健康づくりもしていけるような医師が理想。病気になる前の段階から関わる「地域の診療所のお医者さん」です。地域に根ざす胆沢病院には、地域的な傾向と思われる疾患の患者さんや疾患が重なっている高齢の方も多く、すでに地域医療を体験しているように感じます。しっかり吸収し、夢を叶えたいと思います。

よしだ ともみ  
吉田 智美

岩手県花巻市出身 1990年生まれ  
東北医科薬科大学卒  
臨床研修病院・岩手県立胆沢病院

## 先輩研修医の活躍する姿が 自分のモデルになりました

### 聞く姿勢を大切に

見学した際、研修医が活躍する姿を見て、自分もこうなりたいと思い、磐井病院を研修先を選びました。風通しの良い雰囲気の中、分からないことはすぐ質問し、手技も自分から希望してやらせてもらいました。今は自分で考えて行動できることが増えています。研修を通じて実感したのは、きちんと話を聞く姿勢が大切だということ。患者さんの訴えはもちろん、上の先生や同期、たすきがけで他病院から来ている研修医の話に耳を傾ける中で学ぶことが多いです。人手が十分ではなく、いい意味で医療が細分化していない環境だからこそ力がつくと感じます。経験を積み、知識も備えて、患者さんに頼ってもらえる医師を目指します。

すがの まさひろ  
菅野 雅大

岩手県盛岡市出身 1999年生まれ  
秋田大学卒  
臨床研修病院・岩手県立磐井病院



### スタッフとの距離が近く 気軽に相談できる環境です

#### 地元医師会とも交流

久慈病院には、皆で力を合わせて頑張ろうという雰囲気があります。スタッフの数が多くないので医師同士はもちろん、他職種のスタッフとも距離が近くて相談しやすく、科の垣根を越えて質問できるのがありがたいです。また、上の先生が勉強会を開いてくれたり、地元の医師会の勉強会に参加したりと、病院と地域が一体となって学ぶ環境も整っています。臨床研修を通じて、患者さんの家族や社会背景など、医学以外のことも重要だと実感しました。診療にあたっては患者さんが自分の家族だと思って接することを心がけ、寄り添っていきたいと思います。

さとう ひろのり  
佐藤 大智

岩手県花巻市出身 1999年生まれ  
自治医科大学卒  
臨床研修病院：岩手県立久慈病院

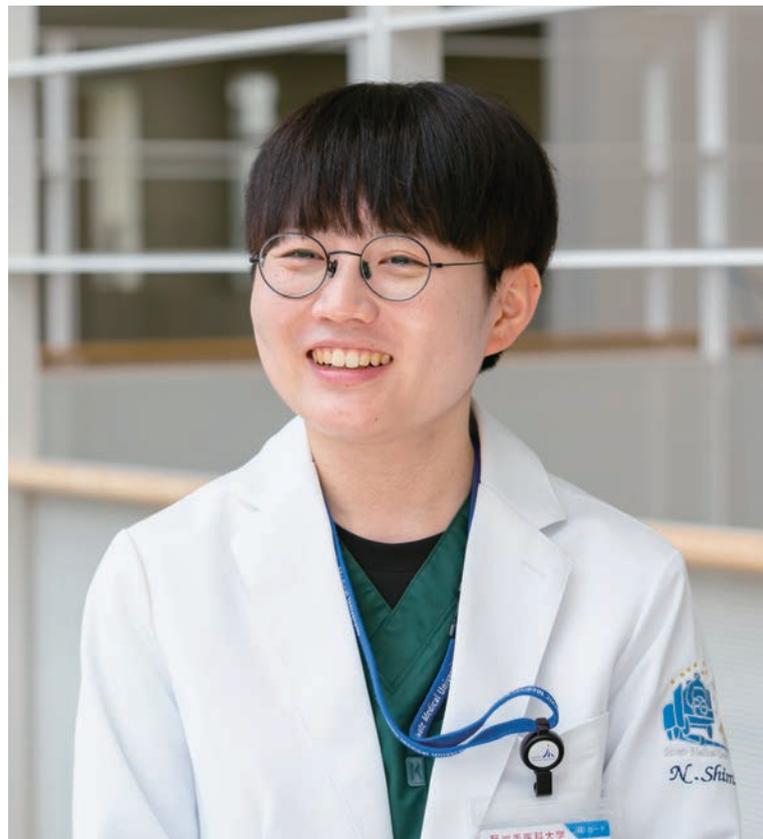
### 自由度が高い臨床研修で 学ぶ醍醐味を感じています

#### 人脈づくりも魅力

学生時代に内分泌に興味を持ち、アカデミックなことを勉強したかったので、臨床研修先は大学病院を希望していました。縁あって岩手に住むことになり、岩手医科大学附属病院へ。ここでの研修は自由度が高いため、好きな科にローテートが可能です。でも、どの科も興味深く、目指す科ではないところで学ぶのも臨床研修の醍醐味だと感じました。当直で一緒になった先生にいろいろ教えていただいたり、研究している方や子育てしながら働く方の話を聞いたりする中で、人脈形成できるのも魅力です。同期は岩手医大卒の人が多いのですが、とても良くしてもらいました。皆と別れたくないので、今後も一緒に働きたいと考えています。

しみず なお  
清水 菜央

宮城県仙台市出身 1995年生まれ  
山形大学卒  
臨床研修病院：岩手医科大学附属病院



## 経験を積み、鍛えられて 判断が早くなりました

### 正確性が最も大切

患者数が多い、できる手技の種類が豊富、沿岸地域の医療を見たいという観点から大船渡病院を選びました。漁業者や釣りに出た方の外傷の診察は沿岸地域ならではのようです。最初の頃は、検査の依頼を出すまでや他の科に相談するまでが遅いと言われました。上の先生方の指摘は、一緒に働く人間として研修医を育てたいとの気持ちがあつてのこと。よく質問し、経験を重ねることで鍛えられ、成長できていると感じます。今では患者さんの症状を聞いて、検査のオーダーや治療の進め方などの判断のスピードが上がり、信頼されるようになってきました。今後も正確性を第一に、患者さんの話をきちんと聞ける医師になれるよう努力します。

この  
金野 百合子

岩手県盛岡市出身 1998年生まれ  
岩手医科大学卒  
臨床研修病院：岩手県立大船渡病院

## 手技を通じて面白さを知り 興味の幅が広がりました

### 機会は自分で作る

将来、医局に入ろうと考えている母校の近くで働きたかったのと、コモンディーズが診られる二次救急入院受入病院が希望だったことから、盛岡赤十字病院に決めました。学生時代は内科系志望でしたが、外科を回ったときに自分にもできる手技が多くて面白さを感じ、今は泌尿器科を筆頭に外科系で迷っています。上の先生方から教わり、カバーしてもらえる今だから、できるだけチャンスを手にしたい。自分からやりたいことを伝える場合もあるし、「これをやってみないか」と言われたら「イエス」と言うのが基本。お陰で自信ができました。自分の診療科でやるべきことがしっかりできて、患者さんにも看護師さんにも優しい医師が目標です。

たなか たいと  
田中 泰斗

北海道苫小牧市出身 1996年生まれ  
岩手医科大学卒  
臨床研修病院：盛岡赤十字病院



# MESSAGE

## 指導医に聞く



高度な医療とコモンな症例

たすきがけ研修で学べます

### 他病院でも経験を

岩手県で研修するメリットは、臨床研修医が診ることができる症例が豊富だということです。また、臨床研修病院を行き来できる「たすきがけ」の制度で、病院ごとに異なる雰囲気やシステムのもとで勉強し、自分の研修先だけではできない経験を積むことで刺激を受け、新たな視点を養えます。

小規模病院からはたすきがけに出て、大きい病院は受け入れることが多いと思いますが、岩手医科大学附属病院は、ほぼ半々。専門的なことを学びにくる人が多い一方で、大学病院の研修カリキュラムは出られる期間が最大で1年と長く、コモンな症例や手技を経験するために学びたい分野を選んで他病院で研修する人も少なくありません。そうしたバランスがうまく取れるカリキュラムです。

まいた しんや  
米田 真也

岩手医科大学附属病院  
総合診療医学講座講師

2004年 秋田大学医学部卒業  
2004年～ 岩手県立胆沢病院  
2006年～ 秋田大学医学部附属病院  
2007年～ 岩手県立胆沢病院  
2008年～ 秋田大学医学部附属病院  
2009年～ 由利組合総合病院  
2010年～ 秋田大学医学部附属病院  
2012年～ 岩手県立胆沢病院  
2024年～ 岩手医科大学附属病院

### 学び続ける姿勢で

指導医なら誰しも研修医に対して、学ぼうという気持ち、積極性を持って取り組む姿勢を期待していると思います。岩手は医師数が少ないため研修医が担う部分が多く、自然と経験を積むことができます。また、病院によっては研修医の人数が少なく、たくさんの症例が割り当てられる環境にあります。しかし、降ってくるのを待っている人と、そうでない人では得るものが違います。自分から、という姿勢の人は伸びていきます。

臨床研修、専攻医とカリキュラムがあるうちはいい。学校と同じで、それに則っていけば、ある程度のところまでいけます。しかし、そこから先の人生のほうが長いのですから、自分に求められていることは何か、どのような貢献ができるかをよく見て考えて、自分がより発展していくために習得すべきこと、努力すべきことを追求していかなければなりません。研修医の期間は、そのための練習段階です。自ら考え、指導医にうまく伝えることも大切です。

できることが増えると、教えてもらえる機会が減ります。40年、50年先を見据えながら、目の前のことを解決できるよう問題点を整理して学んでいくことは非常に重要で、その姿勢こそがプロフェッショナルリズムです。知識や技術だけでなく、学び続ける方法を教えるのが私たちの仕事と考えて取り組んでいます。

良き指導者に出会い

目指す道へ踏み出そう



## 豊富な症例が強み

岩手県立中央病院は県内でも規模の大きいセンター病院で、全科が揃っています。患者数が多く医師は少ないので、若い先生たちの診療の機会、さまざまな経験を積む機会が多いことが、当院で研修する最大のメリットだと考えています。初期研修に続く専門研修も重要で、専門医を取るための症例が多いという利点もあります。

また、診療や手技はもちろんですが、大学院進学を目指している人に対しても教育ができるのもアピールポイントです。大学院に進む手前で、研究したことがある、英語の論文を書いたことがあるという経験は非常に大切になりますが、そのための助走をサポートすることができます。血液内科や内分泌代謝内科など、考えることが中心の研修もできる病院なのです。

なかや いざや  
中屋 来哉  
岩手県立中央病院  
診療部次長兼  
医療研修部次長兼  
副腎センター長兼  
腎臓・リウマチ科長

1999年 東北大学医学部卒業  
2000年～ 金沢大学医学部附属病院  
2001年～ 金沢市立病院  
2002年～ 国立金沢病院  
2003年～ 公立松任石川中央病院  
2004年～ 金沢大学医学部附属病院  
2005年～ 越野病院  
2006年～ 富山県中央病院  
2007年～ 岩手県立中央病院

## 自ら進んで実践を

臨床研修医に望むのは、元気に明るく、日々をこなすこと。若い医師は、実践あるのみです。患者さんが多く、救急車もたくさん来る中央病院は、研修医が指導医の後ろに下がっていられる環境ではありません。チャレンジしようと、常に前に出る姿勢が大切です。「中央病院で2年間やるぞ!」という心意気さえあれば何とかなる。指導医としての経験から、皆さんにはそう伝えたいと思います。

2年間の研修期間中に、どの科に進むかを定めることとなりますが、初志貫徹する人は5～6割くらいでしょうか。当院は科が揃っているので、進路変更もしやすい。ですから、学生向けの説明会などでは「迷っている人も、どうぞ来てください」と話します。いい指導医に出会い、そこに行くという人もいます。恐れずに、やる気を持って取り組んでください。

研修医を指導する中で、私は彼らにメンター、すなわち良き指導医を3人くらい見つけなさいと話しています。そして、それぞれのいいところ取りをしてくださいと。中央病院での診療をモデルにする人、研究者を目指す人、小さい病院で働きたいという人……と目標はさまざまですが、自分にフィットするメンターを見つけ、そこを目指しながら学んでほしい。そのために、私たち指導医は研修医の皆さんを見守り、支えていきます。

# SYSTEM

## 専門医制度

### 01 新しい専門医制度について

平成30年4月に開始された新しい専門医制度では、医師国家試験に合格し臨床研修(2年間)を終了した後、希望する基本領域ごとに基幹施設の専門研修プログラムで定める期間、「専門研修」を行うことになります。

専門研修は、基幹施設と連携施設をローテートして研修を実施します。

医学部を卒業し、  
医師国家試験に合格

臨床研修病院で  
2年間の臨床研修

#### 基本領域専門研修(19領域)

- |        |       |        |       |      |            |       |
|--------|-------|--------|-------|------|------------|-------|
| ①内科    | ④整形外科 | ⑦小児科   | ⑩皮膚科  | ⑬精神科 | ⑯臨床検査      | ⑲総合診療 |
| ②外科    | ⑤形成外科 | ⑧耳鼻咽喉科 | ⑪泌尿器科 | ⑭麻酔科 | ⑰病理        |       |
| ③脳神経外科 | ⑥産婦人科 | ⑨眼科    | ⑫放射線科 | ⑮救急科 | ⑱リハビリテーション |       |

#### 基本領域研修2年目から連動研修ができる サブスペシャリティ領域専門研修(15領域)

- |              |             |         |
|--------------|-------------|---------|
| ①消化器内科       | ⑥脳神経内科      | ⑪心臓血管外科 |
| ②循環器内科       | ⑦腎臓内科       | ⑫小児外科   |
| ③呼吸器内科       | ⑧膠原病・リウマチ内科 | ⑬乳腺外科   |
| ④血液内科        | ⑨消化器外科      | ⑭放射線診断  |
| ⑤内分泌代謝・糖尿病内科 | ⑩呼吸器外科      | ⑮放射線治療  |

#### 基本領域専門研修と連動できない 基本領域専門研修終了後開始する サブスペシャリティ領域専門研修 (9領域)

- |        |         |
|--------|---------|
| ①アレルギー | ⑥集中治療科  |
| ②感染症   | ⑦脊椎脊髄外科 |
| ③老年科   | ⑧新生児    |
| ④腫瘍内科  | ⑨小児循環器  |
| ⑤内分泌外科 |         |

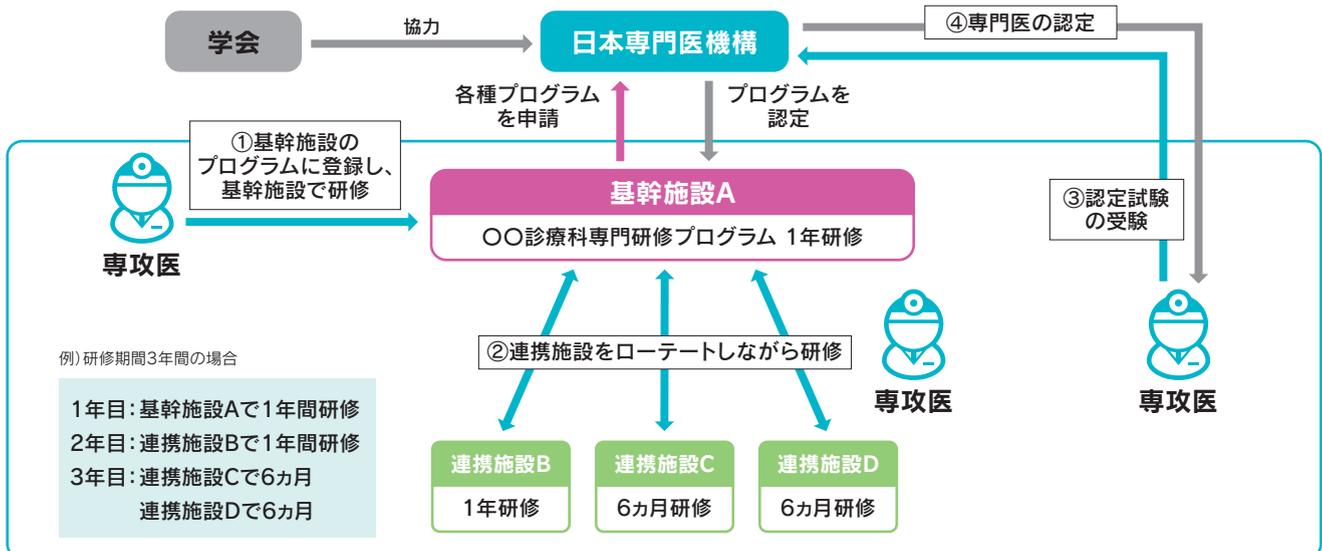
#### サブスペシャリティ領域習得後の研修領域(5領域)

- |         |          |             |
|---------|----------|-------------|
| ①肝臓内科   | ③内分泌代謝内科 | ⑤放射線カテーテル治療 |
| ②消化器内視鏡 | ④糖尿病内科   |             |

※一般社団法人日本専門医機構HPより  
(令和7年4月1日時点)

日本専門医機構が指導医数、症例数、研究実績等の基準を満たす基本領域専門研修プログラムを認定し、専攻医は基幹施設・連携施設とローテートして研修します。

<イメージ図>



## 専攻医インタビュー

### やりがいを感じ 患者さんに寄り添う

ちだ たいせい  
千田 大誠

専攻医

岩手県大船渡市出身 1995年生まれ

岩手医科大学卒

臨床研修病院：県立宮古病院



### 内科全般に関わる診療科

宮古病院での臨床研修中に興味がわき、呼吸器内科を選択しました。肺がんや肺炎、肺気腫などの慢性疾患と、領域が多いので幅広く診られるし、心臓などの臓器とつながっているため内科全般を診ることができるのもいいと思いました。

岩手医大の医局に入ったので、医大の専攻医プログラムで研修中です。昨年、中部病院でスタートして10月から中央病院へ。この4月から再び中部病院に勤務しています。

専攻医になって、責任を持つ場面が増えました。入院患者さんも持つし、外来にも対応する。研修医時代に上の先生の指導のもとで行った診療を、すべて自分の責任ですするというのが大きな違いです。知識も求められるので、勉強は欠かせません。



### 患者さんの望みを聞いて

呼吸器内科の上の先生方は、自分の領域外だというスタンスではなく、内科医として、まず自分が対応するという姿勢で診療にあたっていました。私もそれに倣い、内科全般として広く診るようにしていて、そこにやりがいを感じます。

呼吸器疾患は長期治療を要することが多いです。そのため、患者さんとの付き合いが非常に濃く、長くなります。患者さん自身が何を望んでいるかを聞き、相談しながら進めていくので、家族を含めたコミュニケーションを大切にしています。治療以外について話すことも多く、そこにもやりがいがあります。

学びながら診察にあたり、自分の裁量を生かしてやっていきたい人には、ぜひ呼吸器内科を目指してほしいと思います。



### 01 たすきがけ研修について

岩手県では、県内11の臨床研修病院が「すべて相互の臨床研修病院」となっています。これにより、病院間相互の強みを活かし、岩手県内どの病院でも研修が可能となる「たすきがけ研修体制」が実現しています。自身の研修病院に腰を据えて学びながらも、その病院にはない診療科や、学んでみたい指導医のもとで研修を行い、経験の幅を広げることができます。毎年100人弱の臨床研修医が本制度を利用しています。

#### 各病院プログラムのたすきがけ研修ルール

|            |  |         |                                     |
|------------|--|---------|-------------------------------------|
| 岩手医科大学附属病院 | 原則4週間単位で、最大52週可<br>(52週は地域医療研修及び総合診療科を含む)  | 県立磐井病院  | 2年次に3ブロック(12週)まで派遣可能                |
| 盛岡赤十字病院    | ①4週間単位で必修診療科8週、<br>自由選択12週の最大20週まで可<br>②1年次の10月から派遣可能だが<br>ほかの研修医とのバランスを調整し派遣する<br>③2年次の最終8週は院内研修とする | 県立大船渡病院 | 自由に派遣可能だが、<br>他研修医とのバランスをみながら時期等を検討 |
| 県立中央病院     | 原則、中央病院にない診療科・診療領域   | 県立宮古病院  | 指導医と相談のうえ、12週程度を目安に派遣可能             |
| 盛岡市立病院     | 自由選択期間で最大12週分派遣可能  | 県立久慈病院  | 原則4ヶ月派遣可能                           |
| 県立中部病院     | 当院で研修できない内容は、<br>自由選択期間で最大12週分派遣可能   | 県立二戸病院  | 自由選択期間中、基本的には自由に派遣可能<br>(要調整)       |
| 県立胆沢病院     | 必修診療科は8週まで、<br>選択診療科は12週まで派遣可能   |         |                                     |

### 02 各病院の臨床研修アピールポイント

|                        |  |                 |   |
|------------------------|--|-----------------|---|
| 岩手医科大学<br>附属病院<br>p17へ | 研修医の実情にあわせた自由度の高い臨床研修が可能。<br>臨床研修医向けの検査手技レクチャーや各種セミナーも充実   | 県立磐井病院<br>p23へ  | ①手技に積極的、執刀も!<br>②上級医との(良い意味での)近さ<br>③新幹線へのアクセスのよさ<br>④綺麗な施設、宿舎も完備 |
| 盛岡赤十字病院<br>p18へ        | ①コメディカル研修を取り入れたチーム医療の実践<br>②自由度の高いプログラム編成<br>③救急初期対応から慢性期診療まで<br>プライマリケアの経験<br>④診療科の垣根を超えた相談しやすい環境 | 県立大船渡病院<br>p24へ | ①軽症から重症まで幅広く、基本的な救急対応を<br>学べます!<br>②上級医の先生方と距離が近く、相談しやすい環境!       |
| 県立中央病院<br>p19へ         | 診療科が多く、経験症例数が豊富。出身大学も多彩で、お互いに刺激し合える環境が当院にはあります。また、救急センターで初療を行える診療能力を修得できます。                        | 県立宮古病院<br>p25へ  | 広大な宮古医療圏最後の砦。幅広い症例を経験しながら、地域を見渡す視点も養うことができます。そして、少人数ならではの手厚い指導!   |
| 盛岡市立病院<br>p20へ         | 必修科目終了後に「自由選択コース・消化器内科コース・外科コース」のいずれかを選択でき、市中病院での多様で豊富な症例を経験できます                                   | 県立久慈病院<br>p26へ  | 救命救急センターを併設し、一次から三次救急まで受入れています。プライマリケアから専門医療まで幅広く学ぶことができます。       |
| 県立中部病院<br>p21へ         | 基本手技は研修医の役目。<br>当院での研修経験は、3年目になって実感を保証!  | 県立二戸病院<br>p27へ  | 募集5名の少数精鋭だからこそ出来る研修があります!!  |
| 県立胆沢病院<br>p22へ         | ひとつの診療科を長めにローテートすることで、責任ある医療を経験する。<br>多くの手技を経験できる。   |                 |   |

## 01 病院データ

|  |       |                           |
|--|-------|---------------------------|
|  | 標榜診療科 | 47 科                      |
|  | 病床数   | 1,000 床                   |
|  | 医師数   | 294 人<br>(常勤/2025年4月1日現在) |

**宿舎**

当院の宿舎(レジデントハイム)は、大学と病院のほぼ中間に位置しており、病院へは戸外に出ることなく行き来することができ、通勤に係るストレスはフリーです。

研修室の様子



## 02 病院の特色

令和元年9月、病床数1,000床、手術室20室を備える国内最大級規模の病院に移転しました。県内唯一の特定機能病院として高度で先進的な医療を提供する一方、岩手県高度救命救急センターやドクターヘリの運行など、地域の救急医療にも貢献し、総合周産期母子医療センター(MFICU、NICU)、都道府県がん診療拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、岩手県認知症疾患医療センターなど、様々な拠点病院として地域医療の中核的役割を担っています。

## 03 研修の特徴

令和8年度 募集人数 40人

岩手県唯一の大学病院である当院では、各専門診療科のバックアップ体制のもと、より深くより広く思考する科学的姿勢を身に付けることができます。指導医数・症例数も豊富で、研修医の身近に各分野のエキスパートが数多く存在することが、最大の教育的特色です。また、診療能力の向上のため、主要各科によるコアレクチャーや臨床研修医のための症例検討会、CPC、など多彩な教育セミナーを実施しています。さらに、当院臨床研修プログラムの特徴として、選択科目の研修期間が45週あり、自由にローテートを組むことができます。協力病院・協力施設は県内外に40施設あり、52週を限度に院外での研修が可能です。また、多くの専門医・認定医の研修施設認定を受けていることから、専門医・認定医を視野に入れた研修が可能で、平成30年度に始まった新専門医制度においても、すべての基本領域での研修が可能です。



手術風景



オリエンテーション風景



ドクターヘリ

## 04 研修プログラムの一例

| 1年次 | オリエンテーション | 内科  | 救急   | 外科       | 小児 | 内科 | 産婦人科 | 総合診療 | 病理 |
|-----|-----------|-----|------|----------|----|----|------|------|----|
|     | 2週        | 20週 | 8週   | 4週       | 4週 | 4週 | 4週   | 4週   | 1週 |
| 2年次 | 選択研修      | 精神  | 地域医療 | 選択研修(院外) |    |    | 選択研修 |      |    |
|     | 8週        | 4週  | 4週   | 20週      |    |    | 17週  |      |    |

### 岩手医科大学附属病院

〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通2-1-1

TEL/FAX 019-907-7764

E-mail resident@j.iwate-med.ac.jp

問い合わせ先 研修センター事務局

HP <https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/resident/>

院長 森野 禎浩



### 02 盛岡 盛岡赤十字病院

急性期医療を中心に、地域医療の充実に努めます

#### 01 病院データ

|   |       |                          |   |                        |
|---|-------|--------------------------|---|------------------------|
|  | 標榜診療科 | 23 科                     |  | 宿舎                     |
|  | 病床数   | 354 床                    | なし  | 住宅手当:<br>毎月28,500円(上限) |
|  | 医師数   | 54 人<br>(常勤/2025年4月1日現在) |   |                        |

研修室の様子



#### 02 病院の特色

盛岡市南部に位置する当院は、市内だけでなく近隣の市町村からの患者を幅広く受け入れ診療にあたっています。23科にわたる各診療科は岩手医科大学附属病院などとも連携し、質の高い医療の提供に努めています。また、日本赤十字社の基本理念である「人道・博愛精神」に基づき、救急医療・災害医療にも力を入れており、東日本大震災の経験を活かした災害時救護活動などを行っています。

院内に「常に向上心を持って、患者様中心の医療を提供する」という文化が根付いており、院内研修会や症例検討会、勉強会なども活発に行われています。

#### 03 研修の特徴

令和8年度 募集人数 6人

1年次研修は約4週間の院内オリエンテーションから始まり、前半は院内必修診療科研修を中心として、全般的診療能力の習得に努めます。2年次研修医や上級医との救急外来での診療を通じ、プライマリケアの実践を積むとともに、画像所見の読影、超音波検査手技などのショートレクチャーを適宜行うことで、短期間で立ち回るためのスキルアップを図ります。また、種々の診療科横断的検討会（救急症例、病理解剖症例など）により、多角的視野からの症例アプローチ法を学び、バランスのとれた臨床能力の獲得に努めます。

研修プランは臨床研修医の皆さんの希望を最大限に取り入れることができるよう柔軟に対応し、県内外の医療機関との連携により幅広い研修プランを組むことが可能です。

盛岡市は自然、商業、文化が調和した魅力ある街です。交通の利便性も高く、各種学術集会、研究会などへの参加も容易です。恵まれた環境で皆さんと共に学んでいけることを、スタッフ一同、楽しみにしています。



#### 04 研修プログラムの一例

|     |    |       |     |       |    |    |    |
|-----|----|-------|-----|-------|----|----|----|
| 1年次 | オリ | 総合診療科 | 内科  | 小児産婦  | 外科 | 麻酔 | 救急 |
|     | 4週 | 8週    | 16週 | 4週 4週 | 8週 | 4週 | 4週 |
| 2年次 | 救急 | 地域+在宅 | 精神  | 自由選択  |    |    |    |
|     | 4週 | 8週    | 4週  | 36週   |    |    |    |

#### 盛岡赤十字病院

〒020-8560 盛岡市三本柳6-1-1  
 TEL 019-637-3111  
 HP <http://www.morioka.jrc.or.jp>  
 E-mail [kensyu@morioka.jrc.or.jp](mailto:kensyu@morioka.jrc.or.jp)  
 院長 藤原 純



# 03 盛岡 岩手県立中央病院

高度急性期医療を推進する  
県民に信頼される親切であたたかい病院

## 01 病院データ

|   |       |                           |
|---|-------|---------------------------|
|  | 標榜診療科 | 29 科                      |
|  | 病床数   | 685 床                     |
|  | 医師数   | 174 人<br>(常勤/2025年4月1日現在) |

|   |    |
|---|----|
|  | 宿舎 |
| 徒歩1分<br>家賃1万円程度   |    |

研修室の様子



## 02 病院の特色

当院は、急性期高機能センター病院として先進・高度・特殊医療機能と臨床研修病院としての教育・研修機能、医療情報機能など、県立病院の中心的役割を担っています。また、地域医療確保のための診療応援を行うとともに、腫瘍内科やセカンドオピニオン外来、女性外来など、時代のニーズに応じた専門外来があります。高度先進医療への取組みを充実させ、多くの県民の皆さまに医療を提供するため、地域医師会と協力し医療連携を推進するとともに、回復期の患者さんには早期退院をすすめ、次の入院患者さんの待ち時間の短縮に努めています。

## 03 研修の特徴

令和8年度 募集人数 19人

当院は臨床研修制度必修科前から、スーパーローテート研修を行ってきました。その長い歴史から、病院全職員で臨床研修医を育てる環境が整っています。特徴のひとつに、1・2年次研修医が中心となって、指導医とともに行う屋根瓦式救急研修体制があります。臨床研修医＋内科当直＋外科当直＋脳当直＋循環器当直＋ICU当直＋小児当直（小児輪番日のみ）のほか、全科オンコール体制をとって臨床研修医の救急研修のバックアップを行います。年間約17,000名の救急患者のほぼ全例の診療に臨床研修医があたり、軽傷から重症まで幅広く初期診断、初期治療を実施する適切な判断能力を取得できます。AHAのBLS資格の取得も可能、院内ACLSやPALS講習会を受講し、救急診療に必要な知識や技術を学ぶ機会に恵まれています。また、高度医療においても症例数に富んでおり、研修医の探究心に応えるだけの症例と専門性を備えた熱心な指導医が揃っています。



縫合実習の様子



毎日行われる救急症例振り返り



消化器外科の手術ビデオカンファ

## 04 研修プログラムの一例

| 1年次 | オリ<br>(内科) | 選択  | 麻酔 | 自由選択 | 産婦   | 救急 |    |
|-----|------------|-----|----|------|------|----|----|
|     | 4週         | 12週 | 4週 | 20週  | 4週   | 4週 |    |
| 2年次 | 地域         | 小児  | 総診 | 救急   | 自由選択 | 精神 | 選択 |
|     | 8週         | 4週  | 4週 | 4週   | 20週  | 4週 | 4週 |

### 岩手県立中央病院

〒020-0066 盛岡市上田一丁目4番1号

- TEL 019-653-1151
- FAX 019-653-4830
- E-mail gyomu@chuo-hp.jp
- HP <https://chuo-hp.jp/>
- 院長 臼田 昌広



### 04 盛岡 盛岡市立病院

都市型地域医療・消化器系研修充実  
メンタリング制度

#### 01 病院データ

|   |       |                          |
|---|-------|--------------------------|
|  | 標榜診療科 | 18 科                     |
|  | 病床数   | 268 床                    |
|  | 医師数   | 33 人<br>(常勤/2025年4月1日現在) |

 宿舎  
なし  
その分、令和3年度に基本給を上げて対応しています。

研修室の様子



#### 02 病院の特色

当院は、18診療科を有する総合病院として、外来、入院、急患に対応するとともに、岩手医科大学附属病院や地域の開業医との連携を重視した地域医療支援病院としての役割を担っています。消化器・栄養センターでは急性/亜急性期の患者さんを中心に診療を行っています。内科領域では内視鏡治療やIVR、外科領域では腹腔鏡下手術、各種の消化器がん疾患 に対して低侵襲治療を中心とする高度な医療を提供し、積極的に早期回復・退院を進めています。一方、地域医療貢献として回復期に時間を要する患者さんには、地域包括ケア病棟による在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療を積極的に行っています。盛岡市周辺地域にとって「なくてはならない病院」となるよう職員一丸となって努力してまいります。

#### 03 研修の特徴

令和8年度 募集人数 4人

当院の研修制度は、7科目の必修科目終了後に「自由選択コース・消化器内科コース・外科コース」のいずれかを選択して研修します。救急医療、地域医療、小児科、産婦人科は主に岩手医科大学附属病院や盛岡赤十字病院などでの研修を予定しています。また、当院は岩手医科大学への通学も容易な位置にあることから、岩手医科大学社会人大学院生を積極的に受け入れます。臨床研修後は、専攻医として当院に勤務、もしくは岩手医科大学の各医局への入局が主な選択肢になります。研修医募集定員は4名です。消化器内科コース、外科コースでは、将来消化器内科医、もしくは消化器外科医を志す臨床研修医を積極的に支援します。消化器内科、外科領域の認定医、専門医取得を目標とするきめ細やかな指導を目指していますので、全国学会発表、論文作成も含む少数人数制の実践的研修プランと考えてください。当院ではメンタリング制度を導入しますので、臨床研修医はメンティーとしてメンターに研修内容、研修後の進路など、なんでも遠慮なく相談してください。



#### 04 研修プログラムの一例

|     |      |             |                     |    |    |    |    |
|-----|------|-------------|---------------------|----|----|----|----|
| 1年次 | オリ   | 内科(一般)24週以上 | 救急                  | 精神 | 麻酔 | 外科 | 小児 |
|     | 2週   | 当直・救急係      | 4週                  | 4週 | 4週 | 4週 | 4週 |
| 2年次 | 産婦人科 | 地域          | 自由選択・消化器内科・外科 36週以上 |    |    |    | 選択 |
|     | 4週   | 4週          | 当直・救急係              |    |    |    | 4週 |

#### 盛岡市立病院

〒020-0866 盛岡市本宮五丁目15番1号  
 TEL 019-635-0101  
 FAX 019-631-1661  
 E-mail hosp.soumu@city.morioka.iwate.jp  
 HP <https://www.morioka-city-hosp.jp>  
 院長 加藤 章信



# 05 岩手中部 岩手県立中部病院

See one, Simulate one, Do one,  
Reflect one, Teach one!

## 01 病院データ

**標榜診療科** 30 科

**病床数** 434 床

**医師数** 80 人  
(常勤/2025年4月1日現在)

**宿舎**

2DK  
病院に隣接。  
家賃1万円程度。  
エアコンが新しい。

研修室の様子



## 02 病院の特色

当院は中部地域の広域基幹病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院として、主に急性期医療を担っています。さらに地域の医療機関と連携し、がん診療、がん緩和ケア、周産期医療、感染症への対応にも力を入れて良質で安全な医療の提供を心がけています。



中部病院イメージキャラクター「えぐるんズ」

## 03 研修の特徴

令和8年度 募集人数 12人

募集定員12名。ベッド数400とほどよいサイズ感で、多くの患者さんを経験できます。総合診療科・緩和ケア科を必須ローテーションとしています。2024年度の臨床研修医1人あたりの超過勤務は平均487時間（最小293・最大695）で働き方改革で示された960時間以内でした。

医療人の基本規範である、患者さんのケア・患者さんの自律尊重・正義公平の3つを体に染みつけ、病院の基本理念「心のかよう患者中心の医療を実践し、地域社会に貢献する」にベクトルをあわせ、誠実さ・思いやり・情熱を大切にしたい研修を行っています。医療人として、自分の振る舞い・スタンスを常に振り返り、さらなる高みを目指してゆく、すなわち医のプロフェッショナリズムを実践します。



## 04 研修プログラムの一例

|     |    |     |    |    |    |    |     |
|-----|----|-----|----|----|----|----|-----|
| 1年次 | オリ | 内科系 | 総診 | 麻酔 | 小児 | 外科 | 外科系 |
|     | 4週 | 24週 | 4週 | 4週 | 4週 | 4週 | 8週  |

|     |    |    |    |    |    |    |      |
|-----|----|----|----|----|----|----|------|
| 2年次 | 産婦 | 緩和 | 精神 | 地域 | 総診 | 病理 | 自由選択 |
|     | 4週 | 4週 | 4週 | 4週 | 4週 | 2週 | 30週  |

### 岩手県立中部病院

〒024-8507 北上市村崎野17地割10番地

TEL 0197-71-1511

FAX 0197-71-1414

E-mail chubu\_rinken@pref.iwate.jp

HP <http://www.chubu-hp.com/>

院長 川村 英伸



06

たんこう  
胆江

### いさわ 岩手県立胆沢病院

肉食系研修医大募集!  
「プロフェッショナル」になりたくないか?

#### 01 病院データ

|   |       |                         |
|---|-------|-------------------------|
|  | 標榜診療科 | 25科                     |
|  | 病床数   | 346床                    |
|  | 医師数   | 62人<br>(常勤/2025年4月1日現在) |



宿舎

借り上げアパートへの入居が多い。病院から近く、築浅の物件もあり。

研修室の様子



#### 02 病院の特色

岩手県立胆沢病院は、岩手県南部に位置する人口12万人の奥州市にあり、金ヶ崎町をあわせた胆江医療圏(約13万人)の広域病院である。東北自動車道奥州スマートインターから車で3分、敷地内にヘリポートも有しており、救急搬送のアクセスが極めて良い。受け入れを断らない当院は、救急車搬入数は県立病院で第3位、新患の紹介も含め症例数が豊富である。専門医療においては各科2次医療圏を超えた範囲からの紹介も受入れており、症例数は雑誌にも取り上げられている。教育病院として歴史があり、多数のスタッフが当院で臨床研修を受けたOBである。皆が教える精神を持っており、診療科の壁は低く、臨床研修医もスタッフもそれぞれ相談しやすい。医師全員が顔と名前を知っているサイズ感とアットホームな雰囲気の病院である。中規模病院ではあるが、ダビンチ手術や消化管内視鏡治療などの先進医療にも積極的に取り組んでいる。組織横断的活動も盛んであり、災害医療などにおいては県内有数の施設となっている。

#### 03 研修の特徴

令和8年度 募集人数 8人

必修は内科(消化器内科・循環器内科・血液内科・呼吸器内科)24週、外科、麻酔科を各8週、小児科、産婦人科(院外)、精神科(院外)、地域医療(院外)、総合診療(院内外来研修)を各4週、病理(院外)1週。院外必修診療科は8週まで可。9週以上選択したい場合は選択診療科として研修する。自由選択では、当院にない診療科を県内の他病院で12週まで研修可能。

自分のなりたい医師像に合わせて、自分でローテートする診療科および期間、目標を決めてもらう(オーダーメイド研修)。基本的にローテート期間は2カ月以上をお勧めしている。なぜなら、4週の研修では分かつたつもりになるが、実際には責任を持った診療ができずに終わるからだ。臨床研修医が本当に成長するのは2カ月目からである。患者の把握、理解が進み、より適切な指示が出せるようになる。3カ月目には主治医と同等に任せられるレベルになる者もいる。そのため、4週ごとに細切れで多数の診療科をローテートすることはお勧めしていない。手技などを多く経験し、責任ある診療に当たってもらう。特に最初の診療科は3ヶ月以上ローテーションし、病院に慣れ、診療の基本を修得してもらう。

短期間で覚えた知識は、数年後には古びたものになる。しかし、十分なコミュニケーション能力、診療のストラテジー、自ら知識をアップデートする能力を身に付ければ、どの専門分野に進んでも、どの病院で働くときでも「使える力」になると考える。初期研修の目標は、スーパー医学生になるのではなく責任のある医師になることである。当院では医師としてのプロフェッショナリズムを養い、自律していくことを最大の目標にしている。

希望に応じて相談の上、3年目もローテート研修を継続することが可能である。プライマリケアに熟達する、もしくは将来志望する診療科に進む前に他の技術・知識を身に付ける、あるいは主治医として研鑽を積みながら専門とする診療科を決めるなど、将来幅をもった医師として活躍するためのオプションである。早く専門医になることだけが全てではないと考えている。



ダビンチ手術の様子



教育回診の様子



懇親会の様子。肉食系研修医募集中

#### 04 研修プログラムの一例

|     |       |    |     |    |       |    |
|-----|-------|----|-----|----|-------|----|
| 1年次 | 循環器内科 | 小児 | 麻酔科 | 外科 | 消化器内科 | 泌尿 |
|     | 16週   | 4週 | 8週  | 8週 | 12週   | 4週 |

|     |    |    |    |    |       |    |    |    |    |       |
|-----|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|-------|
| 2年次 | 整形 | 脳外 | 精神 | 地域 | 呼吸器内科 | 産婦 | 画像 | 肝臓 | 総診 | 消化器内科 |
|     | 4週 | 4週 | 4週 | 4週 | 8週    | 4週 | 4週 | 4週 | 4週 | 12週   |

※内科系志望研修医のローテート実例

#### 岩手県立胆沢病院

〒023-0864 奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地  
 TEL 0197-24-4121  
 FAX 0197-24-8194  
 E-mail isawarinsyoukensyu@gmail.com  
 HP http://www.isawa-hp.com/  
 院長 鈴木 俊郎



## 01 病院データ

|   |       |                          |
|---|-------|--------------------------|
|  | 標榜診療科 | 25 科                     |
|  | 病床数   | 315 床                    |
|  | 医師数   | 66 人<br>(常勤/2025年4月1日現在) |

|   |    |
|---|----|
|  | 宿舎 |
| 病院から徒歩約3分<br>2K<br>宿舎料(共益費・水道料込み)<br>13,320円/月                                    |    |

研修室の様子



女性医師室



## 02 病院の特色

当院は、岩手最南端の一関市にある地域医療支援病院であり、岩手県南と宮城県北までの約15万人の医療圏での急性期医療・専門医療を中心に診療を行っています。日本人の3大死因であるがん、心筋梗塞、脳卒中については、がん診療では地域がん診療連携拠点病院として各診療科による専門診療に加えて画像診断科、放射線治療科、化学療法科、緩和医療科などを交えた横断的診療を行っており、心筋梗塞や脳卒中についても、カテーテル治療や手術を含め各診療科による急性期診療を行っています。

また、産婦人科・新生児科による周産期、新生児診療や救急科による救急診療についても、それぞれ専属の常勤医師を配置し、地域医療に貢献していることが評価され、2017年度には「自治体立優良病院」として総務大臣表彰されました。

## 03 研修の特徴

令和8年度 募集人数 8人

## 1. On The Job Trainingで多数の実経験を積む

初期研修の時期から患者さんに直接触れて診療を行うことを重要視しています。病棟では担当医として日々の回診や診察を行うことはもちろん、外来では再来のほかにも新患も受け持つ診断や治療を担います。各種検査や処置、手術においても術者や助手として診療に加わり、手技を積極的に経験をすることを推進しています。初期研修医も日当直だけでなく、診療科の当番に加わるため、虫垂炎や消化管穿孔などの外科分野、脳梗塞やAMIなどの内科分野、重症交通外傷や先天性心疾患などの実経験が積めます。ありとあらゆるドラマが毎日起こる現場の雰囲気は、実際に研修をしてみないとわからない。緩和医療科や精神科単科の南光病院が隣接するなど、専門分野決定の幅を広げてくれる内科・外科以外の科も充実。形成外科では、救急外来で役立つ縫合の基礎から熱傷の処置まで丁寧な指導を受けられます。さらに、放射線科の常勤医もおり、画像診断で困った時に研修医がふらっと相談に行っても、マンツーマンで細かいところまで教えてくれます。



## 2. プライマリケアに必要な臨床手技のすべてを修得する

救急科を始めとし各分野の専門家が在る当院は、岩手県南部から宮城県北まで約15万人の医療圏をカバーしています。walk in からドクターヘリ搬送症例、赤ちゃんから高齢者に至るまで、さまざまな症例の初期対応ができるようになるスキルを獲得していきます。初期研修1年目から最前線で急患対応に当たり数多い実践を数多い実践を積むことで、必要な知識・技術を習得することができます。救急外来での当直研修では、1年次前半は副当直として経験を積み、1年次後半からは日当直医として、更に経験を重ねます。



## 3. 知識や技能だけでなく、医師としての人間性も磨く

患者や家族に対する共感、思いやりの精神を涵養(かんよう:ゆっくり育てること)し、同僚の医師や看護師をはじめとするメディカルスタッフとのコミュニケーションを密にとり、多職種連携を意識した診療を積み重ねて、医師としての望ましい態度を形成していきます。

## 04 研修プログラムの一例

| 1年次 | オリ | 内科系 | 救急 | 麻酔 | 外科  | 選択 |
|-----|----|-----|----|----|-----|----|
|     | 2週 | 24週 | 8週 | 4週 | 8週  | 6週 |
| 2年次 | 産婦 | 小児  | 精神 | 地域 | 選択  |    |
|     | 4週 | 4週  | 4週 | 4週 | 36週 |    |

※GW、年末年始の連休期間等は、1ブロック5週となる場合がある。

## 岩手県立磐井病院

〒029-0192 一関市狐禅寺字大平17番地  
 TEL 0191-23-3452  
 FAX 0191-23-9691  
 E-mail iwaihp@yahoo.co.jp(臨床研修センター)  
 HP https://iwai-hp.com/  
 院長 阿部 隆之



### 08 けせん 気仙 岩手県立大船渡病院

優しさと信頼のある医療の実現  
Greet (挨拶する) Thank (感謝する) Respect (敬意を払う)

#### 01 病院データ

|   |       |                          |
|---|-------|--------------------------|
|  | 標榜診療科 | 23 科                     |
|  | 病床数   | 399 床                    |
|  | 医師数   | 38 人<br>(常勤/2025年4月1日現在) |

|   |    |
|---|----|
|  | 宿舎 |
| 病院から徒歩5分  |    |

研修室の様子



#### 02 病院の特色

当院は本院399床(一般260床、精神105床、結核10床、感染4床)に救命救急センター20床を併設した岩手県沿岸南部唯一の広域基幹病院です。救命救急センターでは気仙地域の救急医療を一手に担い、昼夜を問わず一次から三次のあらゆる救急患者に24時間体制で対応しており、岩手県内初のドクターカーを運行しています。

また、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院としての役割も担っています。地域の人々が安心、そして信頼できる医療の実践を目指して、情熱のある医師や臨床研修医、そしてスタッフが全力で診療とケアにあたっています。

#### 03 研修の特徴

令和8年度 募集人数 7人

「優しさと信頼のある卓越した臨床医の育成」を研修理念とし、プライマリ・ケアを中心としたプログラムです。特に救急医療に積極的に取り組んでおり、臨床研修医もチーム医療の戦力として積極的な診療ができる実践的な環境となっています。また、関連する診療科とのコンサルテーションや協同診療など、医師として必要な協調的姿勢を身につけることを目標としています。

1年次の6月から月に4~6回、救急外来の日当直に入ります。上級医の指導のもと、軽症から重症患者までの幅広い初期対応が学べ、臨床研修修了後にどの分野に進んでも生きる力を身につけることができます。

自由選択を44週とし、外科系、内科系問わずできるだけ希望に沿った科目を習得できるよう、自由度を持たせたローテートを提供しています。年度途中でのローテート変更も可能です。

2年間の臨床研修修了後の進路は自由であり、県内の様々な専門研修プログラムの連携施設となっています。



#### 04 研修プログラムの一例

| 1年次 | オリエンテーション | 内科   | 外科  | 救急   | 精神 | 小児 |
|-----|-----------|------|-----|------|----|----|
| 4週  | 24週       | 4週   | 12週 | 4週   | 4週 |    |
| 2年次 | 産婦        | 自由選択 | 地域  | 自由選択 |    |    |
| 4週  | 20週       | 4週   | 24週 |      |    |    |

#### 岩手県立大船渡病院

〒022-8512 大船渡市大船渡町字山馬越10番地1  
TEL 0192-26-1111  
E-mail rinkens@pref.iwate.jp (総務課・臨床研修担当)  
HP <http://oofunato-hp.com>  
院長 星田 徹



## 01 病院データ

|   |       |  |
|---|-------|--|
|  | 標榜診療科 | <b>20</b> 科                                    |
|  | 病床数   | <b>243</b> 床                                   |
|  | 医師数   | <b>33</b> 人<br><small>(常勤/2025年4月1日現在)</small> |


**宿舎**

 全室オーシャンビュー  
 エアコン・Wi-Fi完備  
 病院から徒歩1分以内

研修室の様子



## 02 病院の特色

当院は、1市3町村、人口約7万人の医療圏域内で、唯一急性期医療を担う広域基幹病院です。本州最東端に位置しています。

夜間及び休日は、全診療科がオンコール体制を敷いて救急医療体制を支えています。救急センター化はされていませんが、1次から3次までの多くの救急患者を受け入れ診療しています。そのため地域の救急医療を一手に担っていますので、様々な症例を経験できます。また、勤務医の数が少ないことから、診療科ごとの垣根が低く、各科の協力体制が確立されています。

## 03 研修の特徴

 令和8年度 募集人数 **5** 人

- 研修診療科の途中変更なども含めプログラムの自由度が高くなっています。
- 症例の取り合いがなく、自然に多数の経験を積めることから、医師としての腕力をつけることができます。
- 研修医報告会で症例提示を行い、発表のノウハウも身につきます。
- 1年次の当直は22時までの半当直となっており、身体的負担が少なく、振り返りなどをしながら実力をつけ、2年目からは上級医とともに当直に入ることとしています。
- 当院の臨床研修医になりながら、社会人大学院に入学することも可能です。
- 専門研修は、臨床研修医のニーズに合わせて随時相談を受けており、当院が基幹施設となる「いわて三陸海岸連携内科研修プログラム」で内科専門医を目指すこともできます。
- 研修医室が整備されており、上級医に気兼ねなく休憩できます。
- 地域医療研修で、名古屋大学や東北大学などからも研修医を受け入れています。
- レディースルームも設置しており女性医師も働きやすい環境となっています。



## 04 研修プログラムの一例

|     |              |       |    |    |    |    |
|-----|--------------|-------|----|----|----|----|
| 1年次 | 内科+オリエンテーション | 外科:救急 | 小児 | 産婦 | 選択 | 選択 |
|     | 25週+2週       | 4週    | 4週 | 4週 | 4週 | 5週 |

|     |    |    |                               |
|-----|----|----|-------------------------------|
| 2年次 | 地域 | 精神 | 自由選択                          |
|     | 4週 | 4週 | 44週は4週を1単位として<br>選択診療科での研修を行う |

### 岩手県立宮古病院

〒027-0096 宮古市崎鐵ヶ崎第1地割11番地26

TEL 0193-62-4011

FAX 0193-63-6941

E-mail EA1005@pref.iwate.jp

 HP <http://www.miyako-hp.jp>

院長 佐藤 一



### 10

久慈

## 岩手県立久慈病院

地域の人々の命と健康を守り、  
信頼される病院を目指す

### 01 病院データ

|   |       |                         |
|---|-------|-------------------------|
|  | 標榜診療科 | 20科                     |
|  | 病床数   | 246床                    |
|  | 医師数   | 29人<br>(常勤/2025年4月1日現在) |

|   |    |
|---|----|
|  | 宿舎 |
| 1LDK<br>(エアコン、wifi完備)   |    |

研修室の様子



### 02 病院の特色

当院は三陸復興国立公園の北部、久慈市北東部に位置し、人口約5万人の久慈医療圏に唯一の総合病院です。平成10年3月に救命救急センターを併設して現在地に移転新築し、ドクターヘリを受け入れるなど高度急性期医療から地域包括ケア病棟などの回復期医療まで、地域完結型の病院として安全で質の高い医療を提供しています。

高度な医療機器を整備するとともに、救急専門医のほか、各診療科の専門医が多種多様な患者の診察にあたっています。また、地域がん診療病院として、がん治療認定医が4名おり、質の高いがんの診断、治療に取り組んでいます。

### 03 研修の特徴

令和8年度 募集人数 4人

- 1診療科に臨床研修医が1名から最多2名とし、密度の濃い研修が受けられます。
- 1年次の当直は当初、3人体制で始まるので、指導医から教育を受けながらスムーズに研修に入ることができます。
- 臨床研修修了後の進路に対する制約はありません。
- 当院の救急車受け入れ要請受諾率は99.9%です。そのため、様々な疾患のファーストタッチを担うことができます。
- 臨床研修医全員がBLS、ACLSのプロバイダの資格を取得でき、希望があればJATECを取得できます。
- 自由選択科目は48週と長いので、研修医の希望に沿ったプログラムを組むことが可能です。
- 各診療科間の垣根が低いので、相談などがしやすい医局です。
- 歓迎会、納涼ビール列車、ピンポン大会など、楽しい行事がたくさんあります。



救急症例検討会の様子



救急センター

### 04 研修プログラムの一例

|     |    |     |    |    |    |    |    |
|-----|----|-----|----|----|----|----|----|
| 1年次 | オリ | 内科  | 精神 | 外科 | 小児 | 産婦 | 救急 |
|     | 2週 | 26週 | 4週 | 4週 | 4週 | 4週 | 8週 |

|     |    |     |
|-----|----|-----|
| 2年次 | 地域 | 選択  |
|     | 4週 | 48週 |

### 岩手県立久慈病院

〒028-8040 久慈市旭町10-1  
 TEL 0194-53-6131  
 FAX 0194-52-2601  
 E-mail kujihp.kensyu@gmail.com  
 HP <http://www.kuji-hp.com/>  
 院長 遠野 千尋



## 01 病院データ

|   |       |                          |
|---|-------|--------------------------|
|  | 標榜診療科 | 18 科                     |
|  | 病床数   | 230 床                    |
|  | 医師数   | 33 人<br>(常勤/2025年4月1日現在) |

 **宿舎**  
 単身・ファミリーどちらにも対応可能な公舎あり。いずれも徒歩2分以内。

研修室の様子



## 02 病院の特色

当院は、岩手県内陸北部と青森県南部の一部を診療圏とする、この地域唯一の総合医療機能を有する中核病院で、圏域内の県立病院や開業医と連携しながら地域完結型の医療提供を行っています。当院では、この圏域の救急医療の大半を一手に引き受けており、心疾患、脳疾患をはじめとした各分野の専門医体制による急性期医療を行うとともに、地域がん診療病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院としての役割も担っています。また、在宅医療や保健医療福祉連携にも力を入れており、医師臨床研修、看護・医療技術系学生などの教育・研修にも積極的に取り組んでいます。

## 03 研修の特徴

令和8年度 募集人数 5人

この地域は人口あたりの医師数、医療施設数ともに県平均、全国平均以下(約半分)であるため、急性期から回復期まで多様な症例を数多く経験することができます。また、1診療科研修医1名体制(同年次)をとっているため、指導医・上級医とじっくり向き合いながら密度の濃い研修を受けることができます。

地域との繋がりが強い当院ならではのユニークな取り組みとしては、二戸消防署の救急隊が通報を受けた際に、病院に待機している救急隊(救急車)が臨床研修医と共に現場に出動し救急活動を一緒に行う「救急車同乗研修」などがあり、病院へ到着するまでの一連の流れを経験することができます。

医局内の雰囲気、まとまりも大変良く、研修中の診療科の指導医以外にも気軽に相談することができるなど、研修を行うには最適な環境であり、また、盛岡市まで新幹線で約20分という立地も岩手医科大学社会人大学院生として入学する場合や、学会・研究会参加などの際に非常に便利です。

また、後輩に教えることで自分の力をつけていくことを推奨し、研修医同士で勉強会を開いたり、アットホームな雰囲気の中にもメリハリのある研修生活を送っています。



救急車同乗研修



縫合トレーニング

## 04 研修プログラムの一例

|     |            |     |    |    |    |    |    |    |
|-----|------------|-----|----|----|----|----|----|----|
| 1年次 | オリ<br>(選択) | 内科  | 救急 | 麻酔 | 外科 | 小児 | 産婦 | 精神 |
|     | 4週<br>(1週) | 24週 | 4週 | 4週 | 4週 | 4週 | 4週 | 4週 |
| 2年次 | 地域         | 選択  |    |    |    |    |    |    |
|     | 4週         | 48週 |    |    |    |    |    |    |

### 岩手県立二戸病院

〒028-6193 二戸市堀野字大川原毛38番地2

TEL 0195-23-2191

FAX 0195-23-2834

E-mail ea1014@pref.iwate.jp

HP <http://www.ninohe-hp.net>

院長 小笠原 敏浩







### HERITAGE 中尊寺金色堂 (新覆堂)

金箔の仙堂や一連の遺跡群は壮麗で浄土を願った奥州藤原氏の思いと古のロマンに思いを馳せてみては。



### HERITAGE 橋野鉄鉱山・高炉跡

現存する日本最古の洋式高炉跡で、日本近代化の礎を築いた岩手の先人の功績を見ることが出来る。



### HERITAGE 御所野縄文遺跡

土屋根住居が確認され復元イメージが変わるきっかけに。周囲の自然と一体となった景観も魅力で、住居には入ることもできる。



### SPOT 石割桜

巨大な岩を割って自生するエドヒガンザクラ。市の中心地にあり、開花もはやいことから多くの観光客で賑わう。



### SPOT 龍泉洞

日本有数の規模の鍾乳洞で、清水を灌えた地底湖はドラゴンブルーとも呼ばれ青く神秘的で美しい。夏でもひんやり涼しい。



### SPOT 北山崎

海と岩場が入り組む息を呑む景観が魅力。みちのく潮風トレイルのコースでもあり、見て、歩いて堪能できる。



### ACTIVITY 盛岡さんさ踊り

盛岡市と周辺地域に踊り継がれてきた。パレードは圧巻で、2014年には「和太鼓同時演奏の世界記録」としてギネス認定された。



### ACTIVITY シーSUP

三陸の海ではアクティビティも楽しめる。特にシーSUPは各地で体験会が開かれ、これから始める人にも安心のフィールド。



### ACTIVITY 安比高原スキー場

東北最大規模のスノーリゾート。本州屈指のさらさらの雪質を誇り「アスピリンスノー」とも称される。山に温泉にと周辺のスポットも魅力。



### FOOD 盛岡三大麺

抜群のコシとこくのあるスープが魅力の盛岡冷麺、掛け合いが楽しくお腹も満足なわんこ蕎麦、自分の味を極めたくなるじゃじゃめん。食べるべきソウルフード。



### FOOD 前沢牛

とろけるような肉質で口の中で消えるとはこのこと。全国でもトップクラスのブランド牛をぜひ岩手で。



### FOOD 岩手の海産物

世界三大漁場の一つ、三陸の海が目の前に。豊富な種類と漁場への近さによる抜群の鮮度が魅力。

いわてイーハトーヴ臨床研修病院群

岩手県医師支援推進室

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11-1

TEL. 019-629-6352 FAX. 019-629-6354

URL. <https://rinsyo-iwate.pref.iwate.jp/>



X  
@iwate\_ihatov



Instagram  
@iwate.ihatov.  
rinsyokensyu



岩手県